

地域の魅力発見 & 発信プロジェクト

学校の思い

学び伝え合う経験を重ねた生徒たちが、
吉田地域の魅力を社会に発信してほしい！

先輩から後輩への伝承学習

1 学年(大豆づくり)

今年も豊作です！

おいしい味噌汁が
できました！

地域七校の学校給食



収穫

翌年、
余った豆で…
種まき
給食で調理

味噌汁の
8ヶ月後



味噌が完成！



3 学年(龍勢)

若い人に龍勢を
継承したい

郷土の農業を
体験してほしい

神楽の面白さを
知してほしい

龍勢筒ぼり

保存会
学校応援団

博物館の授業

2 学年(神楽)

東西、東西～

初めて知った！

落下傘しるし



龍勢祭



龍勢祭



貴布祢神社神楽の練習

文化祭発表



龍勢祭&文化祭で発表！

神楽・龍勢活動期間

毎年6月～10月

週1回、2時間程度の活動

※総合的な学習の時間を利用する。



吉田マスコットキャラクター
「よし〜だくん」

「貴布祢神社神楽」は、埼玉県秩父市下吉田・井上地区の貴布祢神社に伝わる神楽です。貴布祢神社神楽は、秩父地方に伝わる神楽の代表的なもののひとつであり、埼玉県無形民俗文化財に指定されています。

平成21年度から、貴布祢神社神楽保存会の指導のもと、地元である秩父市立吉田中学校の生徒が練習を積み、地域の伝統芸能を学び継承していく活動に取り組んでいます。

神楽でつながる「想いのトライアングル」

吉田地域の魅力を感じさせたい！

学校

子どもたちに、「本物」に触れる経験をさせたい！

地域



神楽保存会、博物館の学芸員、教員の打合せ

博物館



博物館・地域の保存会と授業をつくる 「博学連携年間スケジュール」

	前年度 12月	前年度 3月	5月	6月～ 10月	10月～ 12月	12月	
一年目	<ul style="list-style-type: none"> 博物館との打ち合わせ① 〔出前授業の依頼・日程調整〕 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館との打ち合わせ② 〔授業日決定・学習内容の確認〕 	<ul style="list-style-type: none"> 神楽保存会との打ち合わせ① 〔伝承学習の指導の依頼〕 	<ul style="list-style-type: none"> 神楽保存会との打ち合わせ② 〔伝承学習の指導の流れの確認〕 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による出前授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 神楽伝承学習の実施（週一回、二時間程度） 	<ul style="list-style-type: none"> 先輩から後輩への伝承学習 龍勢祭や、中学校の文化祭での発表
二年目	電話での打合せ程度に省略					電話での打合せ	

博学連携の成果

①伝統文化への関心向上

今まで外から見るだけだった神楽を実際にやってみることで、地域の伝統文化への関心や学ぶ意欲が高まりました。



②「本物」に触れる実体験

地域の保存会の協力により、実際の道具を使って、伝統ある神楽を学ぶことができました。日々の練習にも力が入りました。



③地域との温かい結びつき

充実した練習を重ねることで、地域の方々との関係が深まり、生徒を地域の皆で育てようという温かい目が増えました。また、生徒が地元の龍勢祭に参加し、学習の成果を地域の方々に披露することができました。



博学連携を成功させる

虎の巻

一、教職員は「コーディネーター」

教職員が地域、子ども、博物館を繋ぐコーディネーターとなり、学びのイメージの形成や共有を図っています。子どもたちが伝統文化の魅力を感じられる授業を展開するために、積極的に連絡・調整を行います。

二、地域や保存会との積極的な関係づくり

教職員が保存会の活動に関わったり、生徒が地域の祭りに参加したりすることで、地域や保存会との結び付きを強めています。これにより、地域全体で学校を支える雰囲気が高まるため、生徒の学ぶ意欲の向上にもつながります。

三、活動スケジュールの明確化

「博学連携年間スケジュール」を作成することで、学校、保存会、博物館の役割を明確にしています。さらに、活動の見通しを持ちやすくするため、より学習効果の高い授業を展開することができそうです。また、次年度以降は打ち合わせの回数を減らせるため、関係する人たちの負担軽減につながります。

吉田中学校「学びのデザイン」

地域の伝統文化「神楽」を継承し、その魅力を伝えよう

学
び



- ・吉田中学校の上級生から、神楽の舞や笛、太鼓のやり方を教わる。
- ・「県立歴史と民俗の博物館」の学芸員から、神楽の歴史について学ぶ。
- ・吉田地域の神楽保存会の方から、神楽の舞や笛、太鼓について学ぶ。

体
験



- ・保存会の方の指導を受け、実際に舞を踊ったり、笛や太鼓を演奏したりする。
- ・伝統文化の「継承」を目指し、年間23時間程度の練習日を設ける。

発
信



- ・神楽の内容や意味、歴史や伝統について学んできたことを、中学校の文化祭等で披露する。



※これらの活動は、主に総合的な学習の時間を活用する。